



一般質問

令和2年第4回定例会の一般質問は12月16日に行われ、4人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

質問項目は右のとおりとなります。項目別の内容につきましては村ホームページの一般質問通告事項一覧をご覧ください。ここでは、やり取りの一部を抜粋して紹介いたします。詳細な内容は会議録の公表をお待ちください。

はやし 林 昌子 議員 所属：厚生文教委員会

- 成人式について
- 防犯対策について

やまざき 山崎 幸子 議員 所属：総務経済委員会

- 「新型コロナワクチン」について
- 「いばらきアマビエちゃん」について

つかもと 塚本 光司 議員 所属：総務経済委員会

- コロナ禍の学校教育について
- 今後の地元自主防災組織のあり方について

まつむら 松村 ひろし 議員 所属：厚生文教委員会

- シトラスリボンプロジェクトについて
- SDGs・目標16（平和と公正をすべての人に）について



成人式について



はやし 林 昌子 議員

質問 2022年4月1日より18歳から新成人となる。

①コロナ禍における本年度の開催は。

②年齢引き下げに伴う今後の実施展望は。

答弁（教育次長） ①実施予定だが、引き続き感染症の拡大状況等を注視し、開催について慎重に判断したい。

答弁（教育長） ②「(仮称)はたちのつごい」に名称を変えるなどの検討をしながら20歳の1月に実施予定。

答弁（村長） ②18歳から成人年齢との自覚を促すことを選挙管理委員会と考えていく。

防犯対策について

質問 本村においても数人の窃盗被害が出ている。行政として、村民の安全安心を守る為の対策を伺う。

①行政区での防犯対策への啓発は。

②防犯カメラの増設計画

は。

答弁（経済建設部長） ①各

地区の総会において「自主防犯組織」や「ついでにパトロール隊」など、防犯に関する議題を出していただけるよう働きかけを行う。②現在、防犯カメラを村内23カ所、ドライブレコーダーを公用車4台に設置し、犯罪発生時における警察への情報提供と地域の犯罪抑止へ役立てている。今後も地域の実情に応じて防犯カメラの設置を検討していく。





一般質問

「新型コロナワクチン」について



やまざき さちこ
山崎 幸子
議員

た中で、早めに臨時会を開き、議会で説明をし、実施を進めていきたい。

「いばりけんアパルメント
ちゃん」について

質問 新型コロナウィルスワクチン接種開始時期が決定した場合、早期に対応できるような準備は整えているのか。

答弁 (保健福祉部長) ワクチンの接種管理を行うために必要なシステムの改修と、予約・クーポンの印刷等について、システム管理業者と協議を行っている。

質問 牛久市では、ワクチン接種開始時期が決定した場合、早期に対応できるよう、臨時会にて補正予算が議決されたが、本村としてはどのように対応をする予定か。

答弁 (村長) ある程度しっかりとした数字が国から示され

質問 スマホでQRコードを読み取り登録をすることで、コロナ感染者との接触を通知するためのシステムだが、登録店舗で、どこにQRコードが貼ってあるのか分かりづら

答弁 (経済建設部長) 指導している。

質問 県では、アマビエちゃん登録者にプレゼントが当たるキャンペーン等を行い、少しでも多くの人に登録を促している。多くの人に登録を促している。多くの人に登録を促している。自分の身は自分で守っていただきたい。

質問 国難と言っているコロナ禍で大変な状況が続く中、学校生活における児童生徒や先生、全てが心配です。そこで、①学校生活におけるストレス等の報告はあるか。②小6・中3に対し特に気を付けていることはあるか。③GIGAスクール構想でのハード整備後、先生へのサポート体制は万全か。④二学期制となり現場の反響はあるか。

コロナ禍の学校教育について



つかもと こうじ
塚本 光司
議員

の健康チェック、二週間の行動履歴等を取り、安心・安全に努めている。③本村のICT支援員は学校でのサポートについて、これまでの経験とノウハウの蓄積があり、十分に機能していると認識している。④二学期制移行の反響は、特になかったと捉えている。

今後の地元自主防災組織のあり方について

質問 昨今、自主防災組織としての消防団の存続が危惧されている。消防団の現状や今後のあり方について、どう考えているか。

答弁 (総務部長) 本村の団員は毎年15名程度、減少している。今後は、機能別消防団を設置し、OBの協力をいただくことと、分団の再編成を行いたいと考えている。

答弁 (教育次長) ①学校現場ではコロナ禍だけでなく、定期的なアンケート、個別面談で問題の早期発見・把握に努めており、現況、特に問題はない。②毎日の検温と家族

シトラスリボンプロジェクトについて



まつむら ひろし
 松村 広志
 議員

質問 シトラスリボンプロジェクトとは、新型コロナウイルス感染者や医療従事者への偏見や差別をなくすための運動である。「地域」「家庭」「職場（学校）」を象徴する三つの輪でリボンを作り、思いやりを表現している。誰がいつ感染してもおかしくない日常。感染の有無に関わらず、隔てなく「ただいま」「おかえり」「お疲れ様」と気軽に言い合える、受け止める空気であってこそ、社会の安心と安全が守られるのではないか。今、この取り組みが全



国で広がっている。本村の意向を伺う。

答弁（保健福祉部長） 感染者やそのご家族、また、医療従事者への不当な偏見や差別は大きな問題である。本村においても、人権の配慮について広く周知して参りたい。

SDGs（目標16）

質問 全国で児童虐待が年々増加している。SDGs（持続可能な開発目標）の16では、子供への虐待撲滅も掲げている。本村の現状を伺う。



答弁（保健福祉部長） 本村の虐待相談件数は、近年では平成28年度をピークに減少している。これからも関係機関と協力し虐待防止に努めたい。

美浦村成人式典等の挙行に関する緊急提言を行いました

令和2年12月18日、美浦村議会は村長に対して、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、式典等の実施が更なる新型コロナウイルスの感染拡大の要因となる可能性があること、また、関係各位の健康と安全安心の確保のため、成人式典等に関する緊急提言を行いました。

【提言の内容】

- ・令和3年美浦村成人式典を延期または中止すること
- ・令和3年美浦村消防出初式を延期または中止すること
- ・その他、大人数での集会やイベントを当面の間、延期または中止すること



▲村長への提言書提出の様子